

環境研究総合推進費

6, 160百万円 (6, 670百万円)

＜うち復旧・復興 773百万円 (1, 000百万円)＞

総合環境政策局総務課環境研究技術室

## 1. 事業の必要性・概要

政府全体における研究・技術開発の重点2本柱の一つである「グリーン・イノベーション」を推進する一環として、研究・技術開発の成果を社会に「適用」してイノベーションにつなげていく研究開発や、個別領域にとどまらない研究開発が一層求められていることを踏まえ、環境分野における領域横断的な研究開発をいっそう強化し、着実な推進を図っていく。

これまでに、地球温暖化の影響及び被害コストに関する総合的知見の提供等による国際的研究や我が国の政策決定への貢献、ダイオキシン類対策に係る研究開発によるダイオキシン類排出量の大幅削減等の成果を挙げている。

## 2. 事業計画（業務内容）

広く産学民官の研究機関の研究者から公募により提案を募り、外部専門家・有識者等による事前評価を経て研究課題が競争的に選定される、競争的研究資金として運営する。中間・事後評価を行い、結果を公表するとともに、中間評価結果は次年度以降の継続可否や予算額に反映し、資源配分の効率化・適正化を図る。

### （1）戦略的研究開発領域

先導的に重点化を図り、統合的な研究又は社会に適用するためのシナリオを提示する研究。平成25年度は、戦略的プロジェクト「持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合研究－地球の限られた資源と環境容量に基づくポスト2015年開発・成長目標の制定と実現へ向けて－」を立ち上げ、行政ニーズに立脚した戦略的な研究開発を強力に推進する。

○持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合研究－地球の限られた資源と環境容量に基づくポスト2015年開発・成長目標の制定と実現へ向けて－  
（新規）

○地球規模の気候変動リスク管理戦略の構築に関する総合的研究

○アジア規模での生物多様性観測・評価・予測に関する総合的研究

○温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究

○東アジアにおける広域大気汚染の解明と温暖化対策との共便益を考慮した大気環境管理の推進に関する総合的研究

○アジア低炭素社会に向けた中長期的政策オプションの立案・予測・評価手法の開発とその普及に関する総合的研究

## （２）環境問題対応型研究領域

「環境研究・環境技術開発の推進戦略について」（平成２２年６月中間審答申）のフォローアップ結果及び省内各部局の提案等を踏まえ、環境政策上特に必要とされている研究テーマを提示して公募を行い、個別又は複数領域に係る環境問題の解決に資する研究を行う。

## （３）革新型研究開発領域

若手研究者による特に新規性・独創性・革新性の高い環境研究や、先進的特定研究テーマに係る最新成果を評価・統合する研究を行う。

## （４）循環型社会形成推進研究

廃棄物の適正処理、循環型社会の構築技術等に関する研究を行う。

## ３．施策の効果

- 環境政策の推進にとって不可欠な科学的知見の集積及び技術開発が促進され、環境省ＨＰや成果報告会等を通じて、成果の普及・社会還元が図られる。
- 環境省及び全国の地方自治体において研究開発成果を活用することにより、復興に向けた取り組みが加速される。
- 研究開発成果を活用した事業化や産学官連携体制構築等により、環境産業の市場拡大が図られる。

# 環境研究総合推進費

平成25年度予算要求額 6,160百万円（平成24年度予算額 6,670百万円）

## 研究開発の推進

■**グリーンイノベーションの推進・分野横断的な研究開発の強化**  
研究・技術開発の成果を社会に適用してイノベーションにつなげていく  
研究開発、環境分野における分野横断的な研究開発を強化・推進

■**被災地の復興に向けた諸問題の解決**  
東日本大震災からの復興に向けた諸問題を  
解決するための研究開発を強力に推進

## 研究開発の実施方法

産学官民の研究機関の研究者から公募により  
提案を募り、外部専門家・有識者等による  
事前評価を経て、競争的に課題を採択・実施する、  
競争的研究資金として運営。

### 領域区分

戦略的研究開発  
領域

環境問題対応型  
研究領域

革新型研究  
開発領域

循環型社会  
形成推進研究

## 平成25年度の研究開発対象分野

### 一般枠（一般会計）

○「環境研究・環境技術開発の推進戦略」及び環境省各部署の  
行政ニーズを踏まえた研究開発を着実に実施し、環境政策に貢献。

[対象分野]

- ・全領域共通・領域横断（持続可能な社会・政策研究、領域横断研究 等）
- ・脱温暖化社会領域（全球システム変動、持続可能な社会・政策研究 等）
- ・循環型社会領域（循環型社会形成・次世代廃棄物処理技術 等）
- ・自然共生型社会領域（生態系保全と再生 等）
- ・安全が確保される社会領域（環境汚染、リスク管理・健康リスク 等）

○**環境産業の市場拡大に寄与する研究開発を実施。**

- ・成果を活用した事業化等が見込まれる研究開発
- ・産学官連携体制構築等により環境産業の市場形成に寄与する研究 等

### 復興枠（東日本大震災復興特別会計）

○被災地の復興に向けた諸問題の解決に  
資する研究開発を実施。

- ・放射性物質の動態解明と汚染土壌等の除染  
に向けた実用技術の開発
- ・災害廃棄物の迅速・円滑な処理を目指した  
処理技術・システムの研究
- ・東日本大震災による生態系への影響の解明  
等